



「えくぼ」はどうしてできるの

「えくぼ」ができるのは、顔の筋肉が縮んだとき

顔のほおにできるくぼみが「えくぼ」で、笑うとくぼむので、「笑いくぼ」といいます。「えくぼ」のくぼみは、口の左右から、外側の下の方へ、つまり、あごの方に走っている、筋肉が縮んだときにできます。

それで、人によって深い浅いの区別ができ、外から見たのでは、ほとんどわからない人もいます。その中で、指でおしたようにはっきり見える、深いくぼみを「えくぼ」といっているのです。

「えくぼ」は遺伝するといわれている

「えくぼ」は、遺伝に深い関係があるといわれています。

両親とも「えくぼ」があれば、その間に生まれた子どもには、4分の3まで「えくぼ」ができ、両親のどちらか一方だけに「えくぼ」がある場合には、その子どもの半分に「えくぼ」ができるのだそうです。

では、両親のどちらにも「えくぼ」がない場合、「えくぼ」ができる子どもが生まれないかというと、そうではなく、この場合にも、10人に一人くらいは、「えくぼ」のできる子どもが生まれるそうです。（監修・保志 宏）

